

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月19日			
平成15年度	事業コード	23130	電話	042-751-9107
担当部課名	消防本部	消防総務	課	施設 班
事務事業名	消防団詰所・車庫整備費（2次経費分）			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	安全に暮らせる都市の実現をめざします	事業開始年度
基本施策名	第1節	災害に強いまちづくり	63以前年度
施策名	第3施策	消防力の強化	

2 実施根拠及び関連法令等

消防法、消防組織法（第20条 消防庁長官の助言等）	消防力の基準（消防庁告示第1号）
---------------------------	------------------

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

投資的経費

5 事務事業の分類

国庫補助事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
災害発生時の被害の軽減を図るために、消防団活動の拠点となる詰所・車庫を改築等して、消防団機能の充実強化を図り、市民のニーズに対応できる機能を維持するための整備を行う。	市民全般
	対象数 61万市民
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
消防団施設を整備するための改築等工事 総事業費（19,312千円） ・用地測量委託 1件 336千円 ・建設工事費等 4件 18,785千円 ・水道利用加入負担金 1件 191千円	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	消防団詰所・車庫整備件数	当該年度改築件数/改築必要施設×100	建築年数が経過し、老朽化等が著しい施設を優先し、計画的に改築工事を進める(構造が鉄骨造及び鉄筋コンクリート造以外の施設を対象)	7	0	4	4	4
活動指標								

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費					
決算(予算)額	45,752	0	19,312	27,067	26,617
人員・時間数	1人・450h	0	1人・388h	1人・411h	1人・388h
人件費	1,870	0	1,612	1,709	1,612
その他経費					
合計	47,622	0	20,924	28,776	28,229
特定財源	35,832	0	8,766	10,966	10,966
対象数	7	0	6	7	5
対象の単位あたり経費	6,803.1	#DIV/0!	3,487.3	4,110.9	5,645.8

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	老朽化及び狭隘の施設等があることから、消防団詰所・車庫整備計画を策定し、計画に合わせ整備を行なった。
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B : 一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C : 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 昭和29年から市消防団として活動を行っており、現在56施設あるうち老朽化等が進んでいる詰所・車庫もあることなどから、消防団活動の拠点となる施設の整備は欠かせないところである。
(3)有効性 評価 A ▼	A : 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B : 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C : 有効ではない		
		説明	複雑多様化する災害に対応するためには、消防団活動の拠点となる施設の整備は消防力の強化という面からも必要である。
(4)効率性 評価 B ▼	A : 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B : 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C : 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 現在56施設ある消防団詰所・車庫を年間1施設ずつ整備したとしても、56年経過することにより、老朽化する施設が増えてしまうことなどから、今後において整備計画の見直しが必要と思われる。
(5)公平性 評価 A ▼	A : 公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B : 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C : 公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	消防団施設を整備することにより、複雑多様化する各種災害に適切に対処し、市民生活の安全確保を図ることができる。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明： 築30年以上経過した建物などあることから、複雑多様化する各種災害に適切に対処し、市民の安全確保の図るため、消防団施設の整備等の充実強化は必要不可欠である。	手段	年々災害が増加していることなどから、災害発生時に消防団活動の拠点となりうる消防団施設の整備費を削減することは難しいと思われる。
		削減額	0 千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 平成14年度末現在、消防団詰所・車庫の狭隘施設、老朽化施設及び構造が鉄骨造以外の施設が25施設あり、そのうち市有地以外の場所に建てられているものが約半数を占める中、敷地所有者からの返還要望などある施設もあることから、施設の移転改築等の継続的な整備計画は必要である。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--